

肉用牛振興対策について

町長／支援は重点的に取り組む



久保道夫議員

久保 全国有数の生産地である当地域の基盤弱体化が懸念されるなかで今後の肉用牛対策は、また、基金設置による支援は考えられないか。

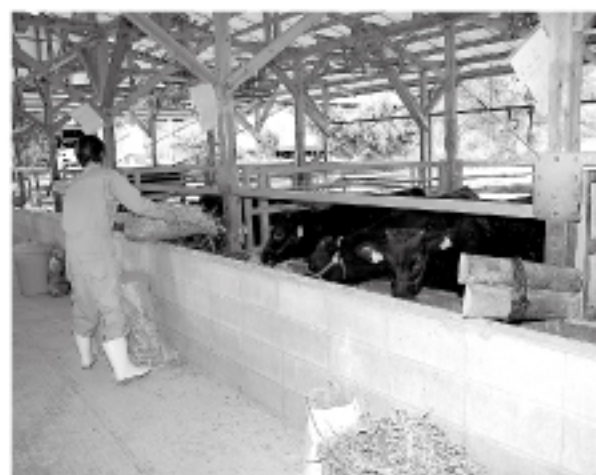
町長 町単独事業や、地域肉用牛振興対策等の活用促進の利用により支援を進めてまいります。また、振興会、中核、多頭飼育農家の方々と意見交換を図り対策を検討し、振興対策に積極的に取り組む考えであります。

農業振興対策

町長／組織作りに着手したい

久保 高齢、過疎化で耕作放棄地が増えていくなかで、今後集落営農組織の育成が急務であると思うが、専任職員等の配置の考えは。

町長 地域担い手育成総合支援協議会、農林技術協会、地域農業管理センター等によるまとめ役を基本に認定農業者、担い手の方々と連携し、推進したいと考えています。今後、専任職員配置も考慮し、検討いたします。



牛舎（虎国地区）

今後の農地保全対策は

町長／営農組織の育成を図る



岩元涼一議員

岩元 高齢化の進行や担い手の減少により山間部を中心に、将来水田としての多面的機能を維持できなくなるのではと考えが。

町長 生産条件が極めて厳しい山間部の農地については、水源涵養等多面的機能を維持する対策を実施すると同時に、17年度から新たな直接支払制度に、121集落協定が取り組まれますので、営農組織の育成を積極的に推進、支援してまいります。

新たな宅地開発について

町長／重要課題と認識している

岩元 定住の推進策として宅地開発、分譲が進め

られているが、地域の要望を分析しながら新たな宅地開発を進める考えはないか。

町長 定住化推進策として、宅地開発事業を実施していますが、未分譲地が67区画、賃貸団地が6区画残っています。この処分が最優先課題ですが宅地需要の動向、地域ニーズ等の把握に努め、新たな宅地開発も引き続き検討する必要があると認識しています。



用水路の管理（二渡地区）